

1	組織名称(略称)	Ethernet Alliance http://www.ethernetalliance.org/			
2	分類	活動目的	実装仕様化・相互接続性検証	対象分野	情報技術(LAN関連)
	技術MAP	活動エリア(注1)	-2	活動技術(注2)	-2
3	目的	IEEE標準のマーケティング組織として機能。マーケティング活動の目標は以下の3つ <ul style="list-style-type: none"> ・イーサネットエコシステムの拡張 ・標準によるイーサネット開発のサポート ・既存市場と新興市場の両方でイーサネットを推進 短期的には、イーサネット・アライアンスをIEEE標準に関する主要な情報源として、メンバーや業界全体に情報を提供している。 長期的には、標準ベースのイーサネットを新しいアプリケーションや世界の市場に拡大することを奨励する。また、コアメンバーの技術的ニーズに対応し、イーサネットに関する多くの情報をエンドユーザーと共有することで技術的理解を深めている。			
4	組織構成	理事会は、Chairman 1名(Huawei)、President 1名(Brocade)、Vice President 1名(Cisco)、理事5名(Amphenol, Broadcom, Intel, QLogic, Teledyne Lecroy)の8名からなる。			
5	参加資格費	Ethernetに関心のある組織、団体に参加資格がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・Principal Member (\$17,500/year) : 投票権・理事資格有 ・Participating Members (\$9,995/year): 投票・理事資格無し、CommitteeのChairは可能 ・Associated Members (\$4,900/year): 売上げ\$10M以下の企業。 ・Consulting Member(By Invitation Only): 理事会招待による大学など非営利団体。 ・Academic Member(無料): 大学など学術機関の教授、学生 			
6	主要メンバー (2017年4月現在) (注3)	主要メンバー <ul style="list-style-type: none"> ・Principal Member 13社 : Amphenol, BoardCom, BROCADE, CISCO, DELL, Finisar, Huawei, Intel, Juniper, Lecroy, QLOGIC, Spirent, TE Connectivity うち日系企業:0 会員数:80 うち日系企業数:3(日立、アンリツ、東京大学)			
7	他団体・組織との関係	不明			
8	TTC活動との関連性 (注4)	□TTCの専門委員会活動と関係あり 対象専門委員会: ■なし 理由: イーサネットの標準化ではなく、普及促進、産業育成を目的とした団体であるため、TTCとの関連性は低いが今後のイーサネットの方向性をみる上で動向を把握する必要がある。			
9	活動状況	<プレスリリースより> <ul style="list-style-type: none"> ・March 15, 2017 Ethernet Alliance は、ロサンゼルスコンベンションセンターで2017年3月21~23日に開催される OFC 2017Expo において、相互運用性のデモを計画。400Gbps のデモと4つのメンバーブースを相互接続するデモを予定。 ・February 2, 2017 ニューハンプシャー大学での 2.5GBASE-T、5GBASE-T の Plugfest において、99%の成功率を達成した。 ・September 7, 2016 ニューハンプシャー大学での Power-over-Ethernet(PoE) Plugfest において、Brocade、HP、Linear Technology、Microsemi、TI の IEEE 802.3™PoE デバイス間で100%の相互運用性が実証された。 ・July 21, 2016 次世代の2.5 Gbps および5 Gbps イーサネット技術の普及を促進するために、Joint Plugfest を NBASE-T アライアンスと共同でホスト ・July 6, 2016 主要な IEEE802.3@イーサネット規格を推進する。IEEE 802.3bpt、IEEE 802.3bqp、IEEE 802.3brp、および IEEE 802.3byp の IEEE Standards Association (IEEE-SA) 出版物を推薦 			

10	設立時期	2005年8月（公式アナウンス:2006年1月）
11	本部所在地	Ethernet Alliance Administration: 3855 SW 153rd Drive Beaverton, OR 97006 admin@ethernetalliance.org
12	関連標準化技術	主要なIEEE802.3@イーサネット規格を推進する。 IEEE 802.3bpt、IEEE 802.3bqp、IEEE 802.3brp、およびIEEE 802.3bypのIEEE Standards Association (IEEE-SA) など 現在はIEEE 802.3 PoE standardsの機器認定に注力している。
13	備考	IEEE 802.3シリーズは有線LANの標準として世界中に広く普及している。 Bylaws http://ethernetalliance.org/wp-content/uploads/2011/10/EA-Bylaws_V2.4final.pdf Policies and Procedures http://ethernetalliance.org/wp-content/uploads/2012/11/EA_PnP_v1.9_10.25.16_Final.pdf
14	更新年月	2017年10月

(注1)活動エリアは以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 2: モバイル系領域を中心に活動を実施
- 1: モバイル系領域の活動を主に、固定系領域の活動も実施
- 0: モバイル系、固定系の両領域にまだがって活動実施
- 1: 固定系領域の活動を主に、モバイル領域の活動も実施
- 2: 固定系領域を中心に活動を実施

(注2)活動技術は以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 3: APL(アプリケーション)領域の活動を実施
- 2: APL領域の活動を主に、MDL(ミドルウェア)領域の活動も実施
- 1: APLとMDLの両領域の活動を実施
- 0: MDL領域の活動を実施
- 1: NW(ネットワーク)領域の活動を主に、MDL領域の活動も実施
- 2: NW領域の活動を実施
- x: 該当せず等

(注3)日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注4)「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。